

胃内視鏡：ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を受けられる方へ

月日（日時）	/	/	/	/	
経過（病日等）	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目以降
達成目標	・手術に必要な準備をしましょう。	・安全に手術を受けられるよう準備を整えましょう。	・手術後は安静に過ごしましょう。 ・症状の変化を教えてください。	・飲水開始後の症状の変化を教えてください。	・食事開始後の症状の変化を教えてください。 ・安全に退院後の生活を送れるよう、心配なことは医師、看護師に相談しましょう。
点滴		・治療前より点滴を始めます。	・点滴があります。	・点滴があります。	・点滴があります。
内服	・医師の指示通りに内服してください。	・指示された薬以外の内服はしないでください。	・持参薬内服の再開については医師または看護師が説明いたします。 ・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服があります。	・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服があります。	・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服が続きます。 ・抗潰瘍薬の内服が開始されます。
検査	<input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> レントゲン があります。	胃内視鏡（ESD） ・手術前に病棟で尿の管を入れます。 ・静脈血栓予防のために弾性ストッキングをはきます ・手術衣に着替え内視鏡室へ行きます。 ・手術後レントゲン検査があります。 ・手術後、状態に応じて酸素吸入を行います。		<input type="checkbox"/> 血液検査 <input type="checkbox"/> レントゲン <input type="checkbox"/> 内視鏡検査 があります。	
治療・処置					
活動・安静度	・制限はありません。	・制限はありません。	・手術後より3時間ベッド上安静、翌朝まで排便時のトイレのみ歩行可能となりますが、歩行時は必ず看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。	・医師の診察後よりトイレのみ歩行が可能となります。	・病棟内のみ歩行が可能となります。 ・手術後の経過により、医師の指示で動ける範囲が広がります。
食事	・病状にあった食事を提供いたします。	・朝から飲食ができません。	・飲食はできません。	・医師の指示により飲水のみ可能となります。	・手術後の経過により、食事（流動食から）の開始が決まります。
清潔	・入浴、シャワー浴が可能です。	・入浴、シャワー浴はできません。		・身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。	・手術後の経過により、医師からシャワー浴の許可が出ます。
排泄	・制限はありません。	・手術前に病棟で尿の管を入れます。	・尿の管を介しての排尿となります。 ・手術後3時間後から翌朝まで、排便時のトイレのみ看護師の付き添いのもとで歩行が可能です。	・尿の管を抜きます。 ・管を抜いた後の排尿状態を看護師が確認しますのでお知らせください。	・制限はありません。
患者様及びご家族への説明生活指導	・入院生活について説明いたします。 ・手首にネームバンドをつけます。 ・医師、看護師より手術について説明いたします。（手術前日から手術当日の手術前までに行います） ・ESD（内視鏡的粘膜下組織切除術）の同意書を確認いたします。（手術前日から手術当日の手術前までに行います）	・手術後、腹部の痛みや不快感、吐き気、嘔吐が出現する可能性があります。そのような場合は、速やかに看護師へお知らせください。 ・手術に支障をきたす可能性があるため、入れ歯、ブラジャーなどの金属類は外してください。 ・手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やマニキュアは落としてください。		・腹部の痛みや不快感、吐き気、嘔吐が出現する可能性があります。そのような場合は、速やかに看護師へお知らせください。 ・退院後、指示された日まではアルコールなどの刺激物は避け、軟らかい食事、またはよく噛んで食事を召し上がってください。 ・もしも退院後に腹部の痛みや不快感、吐き気が強くなったり、血液の混ざった嘔吐物、黒っぽい便が見られるなどの症状があれば、次回の外来まで待たず、受診もしくは電話でご相談ください。	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。